

総務教育常任委員会資料

(平成26年6月12日)

〔件名〕

- ・平成26年度事業棚卸し ～県民視点での点検～ の実施について
【業務効率推進課】・・・1
- ・北朝鮮による拉致被害者の帰国に向けた支援等について
【人権・同和対策課】・・・2
- ・首都圏における観光・物産PR等の取り組みについて
【東京本部】・・・3
- ・関西における企業の人材確保支援等(上半期分)について
【関西本部】・・・5
- ・名古屋駅での観光PRイベント「早ッ！近ッ！夏休みは鳥取へGO！！」
等について
【名古屋代表部】・・・6

総 務 部

平成26年度事業棚卸し ～県民視点での点検～ の実施について

平成26年6月12日
行財政改革局業務効率推進課

公開の場で、外部の視点により事業を点検し、予算の編成作業に活用することを目的として実施する「事業棚卸し」の本年度の実施概要について、以下のとおり報告します。

1 実施体制

- (1) 評価者等の人数：8名（コーディネーター1名、評価者7名（有識者2名、県民委員5名））
(2) 昨年度との変更点

県民目線での事業点検をさらに強化するため、評価者のうち県民委員を増員（4名→5名）

区分	氏名	所属・職
コーディネーター	ほそ 井 由 彦	鳥取大学 理事（企画・評価担当、広報担当）・副学長
評 有識者	お の 野 達 也	鳥取大学 地域学部地域政策学科 教授
	の 野 津 あきこ	鳥取短期大学 生活学科食物栄養専攻 教授
価 県民委員 者 (公募)	なか はら ひ 秀 樹	会社役員
	にし ぐち みち 亨 貞	会社員
	ほそ ぎ 木 福 雄	無職
	むか い え 井 恵美子	会社役員
	もう り れ 毛 利 礼和奈	学生（鳥取大学）

(参考) 昨年度の評価者等の人数：8名（コーディネーター1名、評価者7名（内訳：有識者3名、県民委員4名））

2 評価実施日 8月30日（土）及び31日（日）（インターネットによる同時配信予定）

3 評価の実施方法（予定）

(1) 評価対象事業：10事業程度

以下の①から③までの事業を除くすべての事業の中から、評価者会議において選定を行う。

- ①平成26年度の新規事業
- ②予算額（トータルコスト）が100万円未満の事業
- ③他の方法で外部の評価を受けている事業（公共事業等）

(2) 評価検討時間：1事業あたり最大100分程度（棚卸し当日70分+事前調査等）

(3) 評価の視点：事業の必要性、実施方法が効果的であるか、最適な実施主体はどこかといった観点から事業を点検

4 スケジュール

- 第1回評価者会議：5月30日 … 評価方法や事業選定方法等について議論
- 第2回評価者会議：7月上旬 … 評価対象事業の選定
- 第3回評価者会議：8月上旬 … 評価対象事業の事前調査（事業所管課が事業内容を説明）

5 参考（昨年度の実施結果）

評価実施日：平成25年8月31日（土）及び9月1日（日）

実施結果：改善継続10事業、抜本的見直し2事業（計12事業）

北朝鮮による拉致被害者の帰国に向けた支援等について

平成26年6月12日
東京本部
行財政改革局業務効率推進課
人権局人権・同和対策課

5月26日～28日、スウェーデン・ストックホルムで開催された日朝政府間協議において、北朝鮮が特定失踪者等を含む拉致された可能性のある全ての日本人に対する全面調査を行うことで合意されました。

引き続き関係自治体等と連携して、拉致被害者の帰国に向けた支援体制を整えて参ります。

1 合意事項（概要）

・北朝鮮側は、1945年前後に北朝鮮域内で死亡した日本人の遺骨及び墓地、残留日本人、いわゆる日本人配偶者、拉致被害者及び行方不明者を含む全ての日本人に関する調査を包括的かつ全面的に実施する。

・拉致問題については、拉致被害者及び行方不明者に対する調査の状況を日本側に随時通報し、調査の過程において日本人の生存者が発見される場合には、その状況を日本側に伝え、帰国させる方向で去就の問題に関して協議し、必要な措置を講じる。

・調査の進捗に合わせ、日本側の提起に対し、それを確認できるよう、日本側関係者による北朝鮮滞在、関係者との面談、関係場所の訪問を実現させ、関連資料を日本側と共有し、適切な措置を取る。

・日本側は、北朝鮮側が包括的調査のために特別委員会を立ち上げ、調査を開始する時点で、人的往来の規制措置、送金報告及び携帯輸出届出の金額に対して講じている特別な規制措置、及び人道目的の北朝鮮籍の船舶の日本への入港禁止措置を解除する。

2 合意を受けた本県の対応

・5月29日、安倍首相による合意の発表を受け、同日夜、国に対して「拉致問題の完全解決に向けた緊急要望」を行うとともに、翌30日には、平井知事が内閣官房拉致問題対策本部を訪問し、石川正一郎事務局長に重ねて拉致問題の完全解決を要望した。

・6月5日、平井知事、野坂米子市長及び県・米子市の関係部局長等による「北朝鮮による拉致被害者支援連絡協議会」を開催。拉致被害者の帰国が決定した場合には、速やかに国・県・米子市・警察等からなる「現地合同支援室」を設置すること、支援に当たっては御家族の御意向を最優先とすることなど、本県出身の拉致被害者の帰国・帰郷に向けて、万全の態勢を整えていくことを確認した。

今後、事態の急展開にも対応できるよう、県内出身の特定失踪者等出身自治体（日南町、伯耆町大山町）を含めた関係市町及び県の関係機関と、事務レベルで具体的な支援内容を詰めていく。

・6月9日付で東京本部に「拉致被害者対策調整室」を新設。室長を副本部長が兼職するほか、1名の担当職員を配置し、国からの情報収集や連絡調整を行う体制を整備した。今後、拉致被害者に関する具体的な情報があった場合には、さらに体制を強化する予定。

首都圏における観光・物産PR等の取り組みについて

平成26年 6月 12日
東 京 本 部

首都圏における今夏の観光・物産PRの取り組みについて、以下のとおり報告します。

1. メディアとタイアップした記事の掲載【実施済】

夏の誘客促進を目的として鳥取砂丘、砂の美術館、山陰海岸ジオパーク、三朝温泉 850 周年など編集タイアップ

- (1) サンデー毎日（5月20日）14万部 「初夏の鳥取 日本海でイカ三味」
- (2) 読売新聞夕刊（5月29日）333万部 「旅 山陰海岸」
- (3) 旅行読売（6月2日発売）19万部 「路線拡大 ぶらりとっとり」
- (4) その他、旅行雑誌（旅の手帖、旅行新聞）等での掲載

2. 首都圏旅行会社への観光メニュー造成の働きかけ【実施済】

「三越の旅」「朝日旅行」「クラブツーリズム」「伊勢丹トラベル」にて、今夏の「しゃんしゃん祭」特別鑑賞プランについて初めての催行予定。同観光メニューについては鳥取市とも連携して造成。

3. 鳥取県フェア【実施予定】

現アンテナショップ2階を活用した鳥取の特産品、旬の食材等の試食販売。

6月4日～5日 プリンスメロン、大山Gビール等

* その他、6月下旬、7月2日～3日、8月4日～5日で開催予定。

4. 首都圏旅行会社店頭での観光PR【実施予定】

鳥取県観光連盟と連携して首都圏旅行会社の店頭で夏休み期間中の鳥取県への誘客 PR。

- (1) 立教トラベル（5月26日～6月14日）
- (2) 日本旅行OMC津田沼（6月14日）
- (3) 近畿日本ツーリスト藤沢店（6月15日）
- (4) JTBトラベルゲート有楽町（6月16日～22日）
- (5) 新宿HIS（日程調整中）

5. 中国五県で連携した観光情報発信【実施予定】

中国五県が連携して、情報交換会を開催するとともに首都圏旅行会社店頭（近畿日本ツーリスト）で共同して観光PR。

- (1) 中国ブロック観光情報交換会（6月19日）
観光・メディア関係者（約80名）を集めての情報交換会
- (2) 近畿日本ツーリスト都内店舗で中国五県合同でのPR（6月21日～22日）

6. 鳥取県観光・物産PRキャラバン等【実施予定】

山陰の夏の味覚「すいか」や県下各地の「温泉」等の観光魅力を紹介するPRキャラバン等を実施し、航空路線を利用した観光誘致等を促進する。

(1) キャラバン隊

鳥取県旅館組合おかみの会、観光施設関係者、とっとり観光親善大使等

<日程(案)>

6月19日 鳥取県観光PRメディアキャラバン

首都圏観光関係のメディア訪問(旅行読売、旅の手帖、観光新聞等)

6月19日～20日 「すいか」キャラバン

首都圏各種メディア(調整中)

(2) 大田市場での「すいか」PR

- ① 日時 6月19日 午前6時30分～
- ② 場所 大田区東海 大田市場「東京青果(株)果実売場」
- ③ 主催者 鳥取県・JA全農とっとり
- ④ 内容 鳥取スイカのPR及び試食

7. 各種メディアでのパブリシティ活動【実施予定】

- (1) 千葉テレビ、神奈川テレビ、埼玉テレビ3局との連携番組
首都圏からの夏の鳥取県への誘客を目的としたテレビ番組の誘致
(放送予定 7月上旬～中旬(2週にわたる放送を予定))
- (2) フジテレビ「スーパーニュース」天気コーナーのデータ放送にて鳥取県クイズ
(6月9日～13日)
- (3) その他 テレビ、旅行雑誌、週刊誌、新聞社等とのタイアップ

8. その他

- (1) 羽田空港第2旅客ターミナルでの観光PR(7月4日～6日)
- (2) 千葉県観光連盟との連携PR(8月30日～31日、於:千葉木更津アウトレット)
- (3) 全国高校生手話パフォーマンス甲子園への都内高校の誘致
*手話の授業、手話部、又は手話の大会などに出席した経歴があり、学校として積極的に手話教育に取り組んでいる都内の高校を訪問して誘致を働きかけ(例:東京都立大泉桜高校)

関西における企業の人材確保支援等（上半期分）について

平成26年6月12日
関西本部

県内企業の人材確保は、産業活性化に不可欠であり、県進出企業を含む県内産業界の人材確保を支援する事業に関西において実施するとともに、県内へのUターン就職の更なる推進を図るため、新たな大学と就職支援協定を締結していく。

また、県内における田舎暮らしや農林水産業への就農等相談等に対応し、関西からの移住定住の推進を図っていく。

1 関西圏の大学との連携事業

今年2月に就職支援協定を締結した神戸学院大学に加え、新たに4校程度の大学と就職支援協定を締結する予定としており、県内へのUターン就職に向けた取り組みの更なる推進を図る。

【主な事業】

○関西圏の大学生と県内経済団体若手経営者との交流会、県内企業視察（9月中旬）

2 龍谷大学との連携事業

平成22年7月にUターン就職支援を主目的とする協定を締結した龍谷大学と連携し、通常は困難である、学生に対する直接的な情報発信、就職アドバイスを実施するため、大学経由による県内就職情報の提供、大学内での鳥取県Uターン就職相談会等を実施する。

【主な事業】

○県出身の龍谷大学新生・在校生との交流会（4月8日、場所：龍谷大学）

○世代間交流会（6月26日、場所：龍谷大学）

※参考

○県出身龍谷大学生の県内就職の割合

年 度	県内就職の割合
平成23年度	26%
平成24年度	37%
平成25年度	28%

○龍谷大学の直接メール登録人数 平成25年度実績 48名
(龍谷大学を含む関西圏の大学 202人)

3 公益財団法人 ふるさと鳥取県定住機構との連携事業

(1) Uターン就職支援

龍谷大学をはじめとした関西の大学等に進学する鳥取県出身者に対するUターン就職を支援するため、関西駐在定住機構の定住促進コーディネーター（2名）と連携を図りながら、大学等の訪問による県内就業支援の情報提供並びに学校側の就職支援等の情報収集や学生への県内求人、企業情報、就職セミナー等の情報提供を行う。

【主な事業】

○関西の鳥取県からの進学大学等訪問（延べ約100校）による学生への就職情報提供・就職相談対応等

○鳥取I J UターンBIG相談会 in 大阪（7月、場所：大阪市内）

○県内企業と大学就職担当者との情報交換会（7月、場所：大阪市内）

○鳥取県学内就職相談会（10回程度、場所：関西圏の大学内）

(2) 移住定住支援

ふるさと鳥取県定住機構関西駐在の田舎暮らしコーディネーター（1名）が、移住定住に係る相談対応や鳥取暮らし体験ツアーの実施等により、県内移住の働きかけを行う。

【主な事業】

○関西から鳥取県への移住・就農希望者等への相談対応・情報提供

○鳥取移住定住出張相談会（4、6、9月、場所：大阪市内）

○平日ナイター相談会（5、7月、場所：鳥取県関西本部）

○鳥取来楽暮らしカフェ子育て編（5月、場所：大阪市内）

○鳥取I J UターンBIG相談会 in 大阪（7月、場所：大阪市内）

○関西発鳥取暮らし体験ツアー（8月、場所：県内）

名古屋駅での観光PRイベント「早ッ！近ッ！夏休みは鳥取へGO！！」等について

平成26年6月12日
名古屋代表部

1 JR名古屋駅で鳥取県観光PRイベント「早ッ！近ッ！夏休みは鳥取へGO！！」開催

行楽シーズンである夏期の誘客のため、中京圏で最も利用者が多い名古屋駅中央コンコースで初めて鳥取県の魅力及び第14回全国障がい者芸術・文化祭とっとり大会をPRするイベントを開催します。

(1) 事業概要

項目	会場	実施時期	備考
鳥取県PRイベント	名古屋駅イベントスペース(中央)	6月28日(土)～ 6月29日(日) 10:00～18:00	※内容は(2)のとおり
鳥取県PRポスター集中掲出	名古屋駅コンコース内柱 (新幹線南口～桜通口)	6月24日(火)～ 6月30日(月)	名古屋用に制作した鳥取県PRポスター26枚連続貼り
JR各駅でのPR	JR東海各駅	随時	県PRポスター掲出

(2) 名古屋駅イベントスペース(中央)での鳥取県PRイベント内容

① 名古屋駅イベントスペース(中央)

- ア ・鳥取県東中西部の自然、温泉、観光地等の魅力PR(ポスター、資料等配架)
・第14回全国障がい者芸術・文化祭とっとり大会PR 等
- イ 鳥取県にちなんだクイズラリー
- ウ 砂の美術館 砂像マイスターによるミニ砂像の公開制作 等のイベントを実施

② イベントスペース内特設ステージ

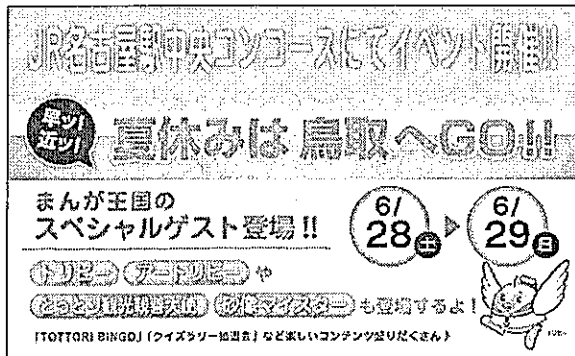
- ア とっとり観光親善大使及びトリピーによる鳥取県PRステージ
- イ 全国障がい者芸術・文化祭とっとり大会PRキャラバン隊によるPRステージ
- ウ 鬼太郎、コナンによるPRステージ
- エ 鳥取県にちなんだビンゴゲーム など

③ 鳥取県PR資料を来場者に対し配布(2,000部)

(3) 参加団体

鳥取県、鳥取県観光連盟、全国障がい者芸術・文化祭とっとり大会PRキャラバン隊
鳥取砂丘砂の美術館

※参考 : 名古屋駅中央コンコースの1日あたりの流動員数は推計約50万人



イベント告知



2 ネクスコ中日本 高速道路サービスエリアでのPR

鳥取自動車道全線開通や鳥取県内高速交通網整備により名古屋から近く、県内移動も速くなった鳥取県の夏の魅力を高速道路のサービスエリアの広報媒体でPRします。

媒体	サービスエリアガイド	フリーペーパー「高速家族」
発行	平成26年7月～9月まで	
発行部数	70万部	15万部（A4版24ページ）
掲載内容	鳥取自動車道全線開通で近くなった鳥取県の夏の魅力紹介	
配布	東海エリアを中心にサービスエリア50カ所	



PRイメージ

3 「砂丘らっきょうの漬け方講習会」の開催

出荷の最盛期を迎えた「砂丘らっきょうの漬け方講習会」を開催しました。

- (1) 日程等 : 6月4日(水) 名古屋市 東生涯学習センター(名古屋市東区)
- (2) 主・催 : 鳥取県名古屋代表部、JA鳥取いなば
- (3) 受講者 : 26名 (応募者多数により抽選)
- (4) 概要 : JA鳥取いなばの生産者の方を講師に迎え、らっきょうの漬け方に加え、産地の状況やらっきょう生産の工程など砂丘らっきょうの魅力も紹介しました。
また、抽選に漏れた方からも、砂丘らっきょうの漬け方のレシピ(資料)のご希望を多数いただき、消費拡大のきっかけになりました。



砂丘らっきょう漬け方講習会の様子